



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

中央青学連 “秘密保護法”反対！宣伝行動を開催

中央青学連では、誰もが気軽に「戦争はしたくない」「9条を大事に」という気持ちを表現できる運動としてスタートさせた「9条、いいね！キャンペーン」は、3月スタートして以降、「いいね！」が5月半ばに1000人、8月に2000人を超え、現在約2900人になっています。著名な映画監督、音楽家、写真家、市民運動家のほか、民主・公明・生活・共産・緑などの各党の国会議員・地方議員なども「いいね！」ボタンを押し、幅広い共同がつけられています。

国民の間に秘密保護法案への不安や危機感が急速に広がり、反対の声があがる中、この問題で「なんとかしなければ」と考えている人は少なくない。同時に、青年・学生のところでは、市民のハロウィン宣伝や若手弁護士のライブ宣伝などの行動も生まれてはいるが、さらに大きくアピールしていく必要があると宣伝行動を行いました。

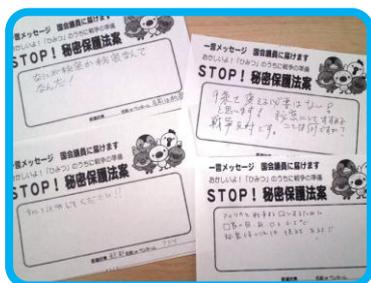


国民の目・耳・口をふさぐ秘密保護法は絶対反対！

宣伝行動は、11月12日PM6:00～JRお茶の水でパネル、シール投票、署名などを使い、全労連青年部の常任委員をはじめ中央青学連に参加する各団体合わせて12名で開催しました。

「シール投票を行っています。」「秘密保護法についてはどのくらい知っていますか？」とシール投票に協力してもらおうと、「自分たちには関係ないと思っていた」「若い人達が頑張っていることが嬉しい」とチョコを差し入れてくれる方もいました。

シール投票後は、署名や一言メッセージ協力してくれる方もいました。メッセージには「何が秘密か“秘密”なんてなんだ！」「アメリカと戦争するために国民の目・耳・口をふさぐ秘密保全法は絶対反対」といった声が多く寄せられました。



■国会要請行動を開催！

宣伝と合わせて、9月13日には国家安全保障特別委員会の国会議員40名を中心に要請行動を約20名の参加で行いました。

要請に先立ち、憲法会議代表幹事の川村さんより「秘密保全法ってなに？」をテーマに講義を行いました。川村さんは、秘密保護法案の問題点を始め、法案がこの時期に出てきた経過などを報告「自民党は今国会で秘密保護法を通過させ、次の通常国会では9条改憲の議論へ進めていくつもりだ、多くの反対の声を上げる必要がある」と話しました。

議員要請では多くの秘書が、「審議中の法案、答えることはできない」「見解については新聞を見てくれ」など考え方を示さないものの、反対の意見は弁護士やマスコミ関係を含めたくさん来ていること、多いところでは1日1,000件に及ぶメールやFAXに驚いているという反応がありました。引き続き多くの声を国会議員へ寄せることが重要であることが示された要請行動になりました。



STOP！ 秘密保護法案

民主主義の破壊、戦争準備を許さない青年の声と行動をひろげよう

2013年11月7日 明るい革新日本をめざす中央青年学生連絡会議

「自衛隊や米軍基地について調べていたら、いきなり逮捕された」「たまたまツイッターにアップした写真に原発施設が入っていて処罰された」「国の進路を左右する大問題が国会で審議されているみたいけど、全然報道されない」「就職した会社が自衛隊の備品も納入する会社だったみたいで、知らないうちに家族や友人のプライバシーまで調査されていた」——いま安倍内閣は、こんな社会をつくらうとしています。

国会で審議に入った秘密保護法案は、政府のもつ情報の中から「特定秘密」を指定し、それを漏らしたり、聞き出したりした人に最大懲役10年もの厳罰を科すものです。「秘密」の範囲はあいまいで、首相や大臣など「行政機関の長」に勝手に決められてしまい、国民には「何が秘密か」も秘密です。「秘密」を漏らした人だけでなく、情報を得るために「秘密」にアクセスしようとした人も罰せられてしまいます。日本社会の未来を担うのは私たち青年です。政治や社会の真実をさぐり、日本の進路を真剣に考えている青年から、憲法で保障されているはずの「知る権利」や「表現の自由」を奪い、青年の知らないところで日本のゆくえを決めてしまうことは許せません。青年が「知りたいことを知れない」「言いたいことを言えない」社会にしてしまう動きに、黙っているわけにはいきません。

秘密保護法案のねらいは、青年の目と耳、口をふさいだ上で、アメリカと軍事戦略を共有し、日本を海外で戦争できる国にすることです。安倍内閣は、国家安全保障会議（日本版 NSC）の設置、集団的自衛権の行使容認など、秘密保護法案と一体で戦争の準備を進めています。

いま青年の間に安倍内閣への不安や危機感がひろがり、多くの青年が「戦前のようにならないか不安」「このままではまずい」と考え始めています。今年3月、中央青学連がよびかけた「9条、いいね！キャンペーン」は7ヵ月で2900人を超える賛同を集めています。秘密保護法案に関する投稿は次々拡散され、4万5000人に見られました。

世論と運動によって、安倍内閣も思い通りに「海外で戦争する国づくり」を進められなくなっています。当初は自民党改憲草案を押し出したものの、厳しい批判をあげました。そこで憲法96条改定を打ち出しましたが、これも批判をうけて引っ込めざるをえなくなりました。続いて内閣法制局長官を変えて集団的自衛権の行使容認に踏み込もうとしましたが、この問題でも批判が起これ、憲法解釈の変更は来年春以降に先送りせざるをえなくなりました。青年の声で政治は動かさず。

「STOP！秘密保護法案」「海外で戦争する国づくりは許さない」という青年の声を大きくひろげ、秘密保護法案を廃案に追い込みましょう。そのために以下の行動をよびかけます。

- 秘密保護法案のねらい、危険性について学び、まわりの青年に発信しましょう。
- 街頭宣伝やつながりで一言メッセージを集めましょう。11/13（水）に行う「STOP！秘密保護法・青年要請行動」で国会議員に届けるため、第一次集約として11/12の15時までに、9jouine@gmail.com に送ってください。
- フェイスブックの「9条、いいね！キャンペーン」のページを拡散し、「いいね！」ボタンを押してもらい、多くの人にページの投稿を見てもらいましょう。
- 様々な青年団体、サークル、個人と共同し、秘密保護法案に反対する「会」や、憲法を守り生かす青年のネットワークの結成をはかりましょう。

以上



2013年11月13日

「9条、いいね！キャンペーン」有志

連絡先 中央青学連事務局（民青会館）

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-20-2

TEL : 03-5772-5701 FAX : 03-5772-5702

Mail : 9jouiine@gmail.com

私たちは、日本が再び戦争をする国になるのではなく、日本国憲法を守り、生かす道を選ぶべきだと、明るい革新日本をめざす中央青年学生連絡会議（青学連）がよびかけた「9条、いいね！キャンペーン」にとりくんでいるメンバーです。スタートして7ヵ月、フェイスブック上で2900人を超える賛同を集めています。青年の「知る権利」「表現の自由」を奪い、アメリカとともに軍事戦略を進める準備となる秘密保護法案に対しても黙ってはいられないと考え、要請させていただきます。

国会で審議に入った秘密保護法案は、政府のもつ情報の中から「特定秘密」を指定し、それを漏らしたり、聞き出したりした人に最大懲役10年もの厳罰を科すものです。「秘密」の範囲はあいまいで、首相や大臣など「行政機関の長」に勝手に決められてしまい、国民には「何が秘密か」も秘密です。「秘密」を漏らした人だけでなく、情報を得るために「秘密」にアクセスしようとした人も罰せられています。日本社会の未来を担うのは私たち青年です。政治や社会の真実をさぐり、日本の進路を真剣に考えている青年から、憲法で保障されているはずの「知る権利」や「表現の自由」を奪い、青年の知らないところで日本のゆくえを決めてしまうことは許せません。

秘密保護法案のねらいは、青年の目と耳、口をふさいだ上で、アメリカと軍事戦略を共有し、日本を海外で戦争できる国にすることです。安倍内閣は、国家安全保障会議（日本版 NSC）の設置、集団的自衛権の行使容認など、秘密保護法案と一体で戦争の準備を進めています。

しかも、共同通信の世論調査では『反対』50.6%、『賛成』35.9%となるなど、秘密保護法案を強行することは世論にまっこうから逆らうことになります。私たち「9条、いいね！キャンペーン」のページでも、秘密保護法案に関する投稿は次々拡散され、4万5000人に見られています。

「STOP！秘密保護法案」「海外で戦争する国づくりは許さない」という青年の声が広がっていることを重く受けとめていただき、秘密保護法案に反対していただくよう要請します。

要請項目

特定秘密の保護に関する法律を制定しないこと。

「9条、いいね！キャンペーン」有志